

## 広報クリニック ＜印刷編＞

### “印刷通販の 特徴を知る”

主にインターネット上で展開する印刷通販では、原稿のデータ作成は行わないのが一般的です。データは、依頼者が作成・入稿します。そして、製版という工程からようやく印刷の業務が始まります。

依頼する印刷のサービスを探す場合には、サービスがどこまでの範囲なのか、しっかりチェックしてから選びましょう。

- 価格が安い
- 納期を選択可能
- 金額をすぐに確認できる
- 基本的に24時間発注が可能
- 営業マンに連絡する必要がない

- 企画提案がもらえない
- アドバイスがもらいにくい
- 発注（入稿作業）が面倒
- 入力ミスはそのまま印刷される
- データ修正ができない



### 「やりっぱなし」にならないために

今号の記事から読めるのは「やりっぱなしにしない」ということです。「自己評価委員会」は第三者を交えて振り返りや評価を行い、やりっぱなしにしないようにする機会です。「寄付」はもらいっぱなしにならないように、寄付者を継続的にフォローしているとのことでした。「団体の解散総会」もやりっぱなしにしないための大切な取り組みです。活動の停滞や参加者の減少によって、団体がそのまま放置されて自然消滅するケースが最近よく散見されます。団体が無くなること自体が悪いものではありません。長年支えた多くの人に対して、感謝を伝えてけじめをつけることで、団体としての社会的責任を果たすことが重要なのです。

日々の仕事もボランティアも、目の前の「やること」自体に力が入り、終わったあとは「知らぬ顔」になりがちです。その後の振り返りや評価、フォローを含めて、一つひとつを丁寧に取り組むように心がけて、やりっぱなしにならないように注意したいものです。

減するケースが最近よく散見されます。団体が無くなること自体が悪いものではありません。長年支えた多くの人に対して、感謝を伝えてけじめをつけることで、団体としての社会的責任を果たすことが重要なのです。

**まちづくり支援室は、**住民活動を支援し、志免町と町民の皆さんで協働したまちづくりをすすめるために設置された施設です。専門のコーディネーターを配置し、NPOやボランティアに関する情報を発信するとともに住民活動に関する相談やアドバイスを行っています。



### ▼支援室からのお知らせ

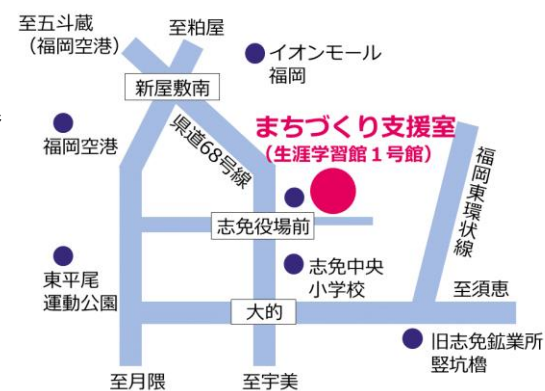
出前講座をご活用ください！  
講座番号 27「協働のまちづくり」、講座番号 28「ボランティアについて」は、支援室職員が講師を担っています。ボランティア団体内の説明会や研修などにぜひご活用ください。  
詳しくは、ホームページをご覧ください。

★次号＜Vol.23＞は2019年9月発行予定です。

- 発行 志免町まちづくり支援室
- 発行日 令和元年（2019年）6月28日
- 編集 NPO法人ミディエイド
- 住所 〒811-2244 福岡県糟屋郡志免町志免中央1-3-2（生涯学習1号館内）
- TEL 092-936-8626
- FAX 092-936-8626
- E-mail collabo@town.shime.fukuoka.jp
- 開室時間 9:00～17:00（火曜・木曜・土曜）  
9:00～21:00（水曜・金曜）



▲公式ホームページ



# The 志免町 まちづくり 支援室 2019.6.28

## Vol.22

### ＜本号の内容＞

- 【支援室レポート】 自己評価委員会
- 【取り組み紹介】 寄付による資金確保
- 【団体活動情報】 志免町子育てネットワーク
- 【広報クリニック】 印刷通販の特徴を知る



## 【支援室レポート】 自己評価委員会を開催しました ～外部の視点を支援室の事業に活かす～

平成30（2018）年度実施事業についての「自己評価委員会」を令和元（2019）年6月4日に開催しました。「自己評価委員会」は、まちづくり支援室の事業を第三者の立場から評価する会議です。今年で設置から6年目を迎えました。支援室の事業を外部の視点から俯瞰する機会を設けることで、事業の充実を図っています。また委員は、NPOやまちづくりの専門家、登録団体のメンバーなどで構成しています。

### ▼事業をよりよくするために

今回は事業について、踏み込んだ意見が多く出ました。特に「団体同士の繋がりを生みやすい交流の要素は、複数の事業に付加できないか」というアイデアは、複数の委員からも意見が出るなど、活発な話題展開となりました。

このようなことから自己評価委員会は、支援室における1年間の事業を外部委員の皆さんによって「ふりかえる会議」の場と、言い換えることもできます。

支援室では、平成29（2017）年度から3年間の事業運営方針を「協働のまちづくりにおける環境整備」としています。今回出た意見は、この環境整備に位置づけることができます。今後できることから、実際の事業に活かしていく予定です。委員の皆さん、ご参加ありがとうございました。

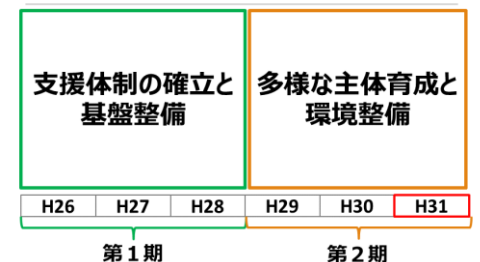
### ▼外部のアドバイスを実際に活かす

過去には委員会で取り上げられた話題から、事業の改善に結びついた例もあります。これまでは、オープン形式で行っていた講座を個別勉強会の形式に改めました。委員会でのアドバイスをより学びを深めるよう工夫して、実際の事業に活かした例です。



▲委員それぞれの経験から、多様な視点の意見が出ました。

### 第1期、第2期 運営方針



▲支援室の運営方針